

優秀賞



平瀬 有人

設計者

平瀬 有人

福岡県建築士会、佐賀大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授、(株)yHa architects

共同設計者

平瀬 祐子

福岡県建築士会、(株)yHa architects



平瀬 祐子

事務所・店舗

佐賀県鹿島市

富久千代酒造 酒蔵改修ギャラリー

構造・階数

木造(黒皮鉄板による構造補強)
地上2階

敷地面積

2,970㎡

建築面積

154.75㎡

延床面積

199.65㎡

竣工

平成26年12月20日



A



B

選評

佐賀県鹿島市の有名な酒造会社の醸造場の一角にある建物で、大正時代(1921)に建造された旧精米所を、来訪者の酒の試飲や展示ギャラリーへ改修したリノベーションである。建物は登録文化財で外観や形状の変更は禁じられているため、外装は焼杉を張り直すことによって旧景を保存している。

倉庫として長期間放置されていた間に建物全体が傾いていたため、屋根を軽量化した上で曳き起こし、内部の梁下に鋼板の箱を入れ子状に差し込み、梁に接合することによって構造補強している。使用しているのは12mm厚の黒皮鋼板で、高さ2.6mの鋼板を運搬と搬入が可能な幅に分割し、現場溶接して箱に組み立てている。箱の壁面には出入口や展示棚のためにさまざまなサイズの開口が穿たれ、開口周りを4.5mm厚の黒皮鋼板のリップを溶接することで補強し、展示棚としても使用している。黒皮鋼板

は基本的に黒錆のままの素地仕上げとし、エントランスの22mm厚の鋼板階段を取り付けた壁面を白色の左官仕上げとしている。2階は鋼板の箱の上部に床を張り、ギャラリーの機能を持った口フトとしている。ここからは木造小屋組と繊細な杉皮の屋根下地を見ることができる。建物の正面には、同じ黒皮鋼板製で地面からわずかに浮き上がった箱型のエントランスブリッジが取り付けられている。

全体として新旧の対比を明快に表現した正統的で魅力的なリノベーションと言えよう。隣接する工場内には、スチール枠とガラスのスクリーンの最小限の建築要素を差し込むことによって魅力的なミーティングスペースが生み出されている点と、これら一連のリノベーションが、肥前浜宿の街並み保存の一環であることも付け加えておきたい。

(難波和彦)



C

- A 東側外観
- B エントランスブリッジ。庇を兼ねたチューブ状のブリッジ
- C エントランスよりギャラリーを見る。土壁は既存のままとし、黒皮鉄板とのコントラストをつくりだしている
- D ギャラリー。既存柱が建つ中に、光天井と吹抜が混在する
- E 2階ロフト。既存小屋組を現しにし、外壁まわりは吹抜けとなっている
- F ギャラリー。黒皮鉄板越しに酒造が見える
- G エントランス。スチールプレート(t = 22mm)の階段と貫入した耐候性鋼板(t = 12mm)のブリッジ

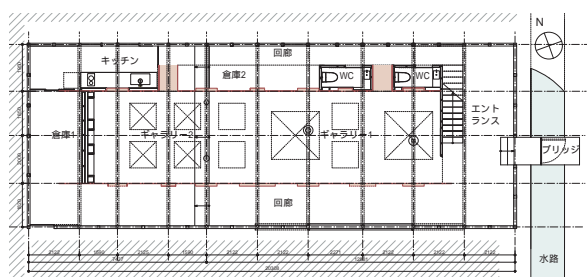


E



D

写真撮影 A ~ E・G...Y.Harigane(Techni Staff)
写真撮影 F...yHa architects



平面図



F

G